

深川駅周辺複合施設建設基本設計書 [概要版] (案)

令和6年
2月

市では、中央公民館の代わりとなる「生涯学習機能」、バスターミナルの役割を担う「交通機能」、まちなかのにぎわい創出を図る「交流機能」の3つの機能を備えた複合施設の整備に向けた検討を進めています。このたび、市民の検討委員会や議会特別委員会等の意見をいただきながら、施設の概略を示す「基本設計(案)」を作成しました。今後、市民説明会やパブリックコメント等を行い、市民の皆さんからのご意見を踏まえ、基本設計を決定いたします。



外観イメージ

01 基本方針 (案 P1)

基本方針に基づき、まちなかのにぎわい創出につながり、市民に親しまれ利用しやすい施設を目指します。

◆基本コンセプト 「まなぶ」「ふれあう」「つながる」まちの交流拠点

方針1 誰もが訪れやすく利用しやすい施設

- ・気軽に訪れくつろげる空間となるよう、自由に滞在できるロビー等のスペースを設けます。
- ・誰もが安心して快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインの考えを取り入れます。

方針2 多様な学びや交流が可能となる施設

- ・サークル活動等で利用する各室やスタディールームを設け多様な学びを支えます。
- ・ロビーやキッズルームなどを低層階に配置し、多世代の交流が生まれる場をつくります。

方針3 便利で安心な暮らしを支える施設

- ・快適にバスの乗降ができる機能を設けるほか、駅とのアクセスを考慮し施設を配置します。
- ・災害時の避難場所を想定し部屋を配置します。

方針4 環境に配慮した施設

- ・太陽光パネルの設置による自然エネルギーの活用や、省エネルギー化を図り、環境負荷と維持管理コストを抑えます。

方針5 経済性と機能性のバランスが取れた施設

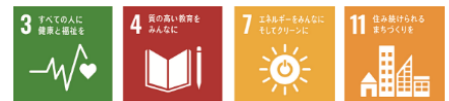
- ・コンパクトで無駄のない「経済性」と、様々なニーズに応え利用しやすい「機能性」のバランスを取り、長期間利用できる施設とします。

方針6 誇りと愛着を感じるまちの顔となる施設

- ・深川のシンボルとなるよう外観デザインを工夫するとともに、開放感のある施設とします。
- ・内装材や備品等に地域材を活用します。

SDGs との関係

複合施設は、SDGsの目標のうち、主に右記の目標達成に寄与します。



建物概要

建設位置 深川市1条8番 敷地面積 約6,000㎡ 建築面積 約1,200㎡ 延床面積 約2,570㎡
構造 鉄筋コンクリート造 階数 地上3階 建物高さ 15m 駐車台数 40台

配置計画 (案 P3)

- ・ 駅とのアクセスを考慮し、施設は事業予定地の北東側に配置します。
- ・ 公共交通レーンは、交差点で広い道路幅が確保できる市道8丁目線を出入口として、事業予定地の西側に配置します。
- ・ バス乗降所は、施設のバス待合に近い位置に配置し、雨や雪の影響を極力受けずに乗降所まで移動できるよう、庇や屋根付きの通路を整備します。
- ・ 施設東側と駅前広場の間に、施設内のキッズルームと連携して利用できる屋外キッズパークを計画します。

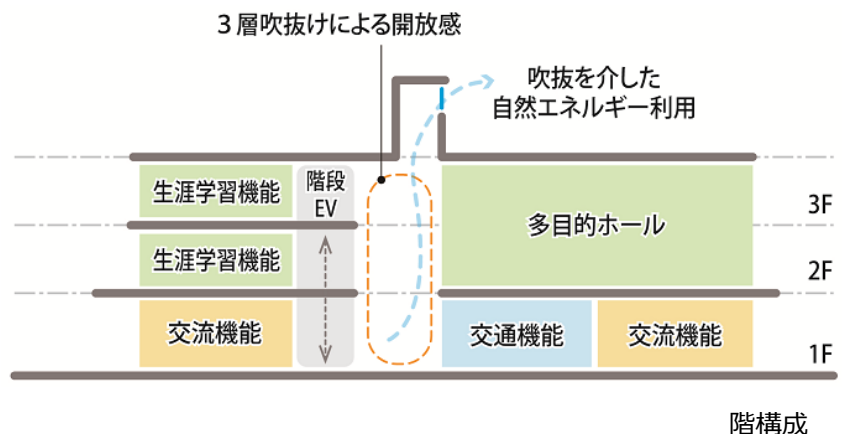


動線計画 (案 P3)

- ・ 動線の交錯をできるだけなくし、歩行者、車両ともに安全性を重視した動線とします。
- ・ 複合施設の出入口は、バス乗降所側の「西側」、駅側の「東側」、駐車場側の「南側」に設けます。
- ・ 公共交通レーンは安全性や利便性を考慮し、一方通行のロータリー形式とします。
- ・ バス乗降所に面する通路は、安全で快適に歩ける幅を計画します。
- ・ 南側出入口の近くに、幅の広い駐車スペース（思いやり駐車場）を配置します。

階構成計画 (案 P3)

- ・ 限られた敷地の有効活用を図り建築面積を抑えるため、3階建てとします。
- ・ 1階は開放的なつくりとし、交通機能・交流機能を配置します。
- ・ 2・3階は生涯学習機能を配置し、多目的ホールを中心に全体をコンパクトにまとめます。
- ・ エレベーターを設置して利用者の円滑な移動に配慮します。



構造計画 (案 P10)

- ・ 避難施設として位置付けられる建物として、「耐震安全性分類Ⅱ類」（重要度係数 I=1.25）相当での耐震設計を行います。
- ・ 基礎形式：杭基礎
- ・ 構造形式：耐震構造
- ・ 架構計画：鉄筋コンクリート造

※基本設計 (案) の内容は現時点の案となりますので今後変更となる場合があります。

平面計画（案 P4～P6）

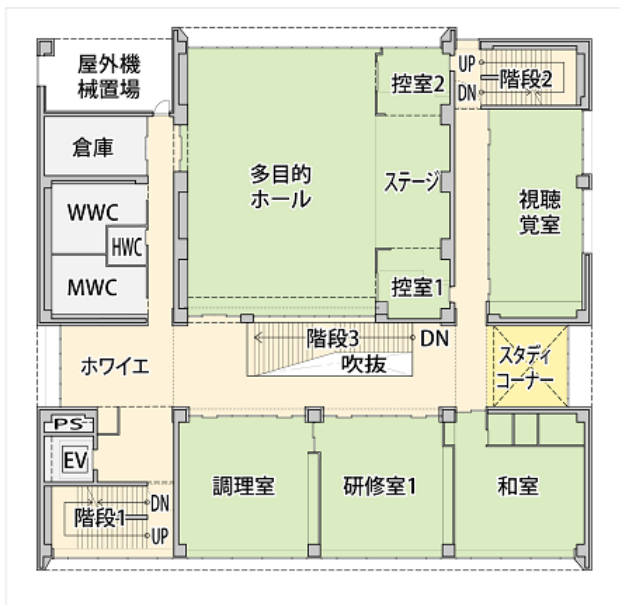
【1階】

- ・中央に「ロビー」を設け、机・椅子や図書コーナーを設けるなど気軽に利用できる空間とし、展示やイベントでの利用も可能とします。
- ・公共交通レーン（バスの発着）が見やすい西側に「バス待合」を配置します。
- ・静かな空間で集中して勉強や読書ができるよう「スタディールーム」を配置します。
- ・絵本や遊具を備えた子どもたちが安心して遊べる「キッズルーム」を配置します。
- ・利用者が軽飲食を楽しめる「カフェ」を計画します。
- ・会議やサークル活動等ができるよう「多目的ルーム」を設けます。



【2階】

- ・大人数での会議やイベントのほか、サークル活動等で使用する空間として「多目的ホール」を整備します。
 - ・楽器演奏や合唱等のほか、ホールの控室として使用する「視聴覚室」を設置します。
 - ・料理講習やイベント等の調理場として利用できる「調理室」を設けます。
 - ・サークル活動や会議等などで使用する部屋として「研修室」や「和室」を設置します。
- ※ 2階に災害対応や防音対策を講じた部屋を集約して配置します。



【3階】

- ・中規模な会議やダンスなど、ある程度のスペースを必要とする活動が可能な「中会議室」を配置します。なお、中会議室には、可動間仕切り壁を設け、分割利用も可能とします。
- ・工作や陶芸等のサークル活動で使用する部屋として「工作室」を配置します。
- ・夕焼けや行き交う電車等が展望できる「テラス」を設置し、施設の魅力向上を図ります。
- ・ステージ脇控室の上部等を有効活用し「倉庫」を設けます。



: 生涯学習機能
 : 交流機能
 : 交通機能
 : 廊下・他共用部
 : その他

03 各部計画



立面計画 (案 P7)

- ・建物四方に庇を設け門(ゲート)型とすることで、人々を迎え入れるデザインとします。
- ・施設内の雰囲気を感じられるようガラス面を多くし開放的な外観とします。
- ・農業のまちをイメージした土壁や、市の木しらかばの木立を表す縦ルーバーを検討します。

断面計画 (案 P8)

- ・1階は天井高を高くして視認性を確保し、2・3階は多目的ホールを中心に一体感を持たせ全体をコンパクトにまとめます。

環境配慮計画 (案 P8)

- ・省エネルギー設備を導入することで、建物の一次エネルギー消費量 40%削減を目指します。
- ・庇による日射遮蔽の他、外断熱工法や複層ガラスの採用で、外部からの熱負荷を低減します。
- ・LED 照明や各種センサー採用で照明エネルギーを削減します。

ユニバーサルデザイン計画 (案 P9)

- ・北海道福祉のまちづくり条例等に基づき、安全で分かりやすく利用しやすい施設とします。

内装計画 (案 P9)

- ・床は耐久性やメンテナンス性に優れた材料で検討します。
- ・内部の壁や建具にガラスを多く採用し建物内部まで光を取り入れるつくりとします。
- ・1階天井は木製ルーバーとし温かみのある空間とします。

設備計画 (案 P11)

- ・熱源設備…液化石油ガス
- ・空調設備…各室：高効率型ガスヒートポンプエアコン、災害対応室：電源自立型ガスヒートポンプエアコン
- ・自家発電設備…災害時：LP ガス非常用発電機

04 整備スケジュール・概算事業費 (案 P12)

整備スケジュール

| 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
|---------|---------------|-------|-------------|-----------|
| 基本・実施設計 | 建設工事 ・外構工事 | | 公民館 解体工事 | 跡地整備 等 |

概算事業費

| 項目 | 概算工事費 | 備考 |
|-------|------------|--------------------------------|
| 建設工事費 | 19億8,000万円 | 建築・電気設備・機械設備 |
| その他費用 | 9億7,000万円 | 用地買収・外構工事・中央公民館解体工事・跡地整備・備品購入等 |
| 合計 | 29億5,000万円 | ※消費税を含む |

北海道 深川市 建設水道部 都市建設課 複合施設整備推進室
 TEL 0164-26-2240 FAX 0164-22-8134
 Eメール fukugou@city.fukagawa.lg.jp

設計事業者
 株式会社 アトリエブंक